

長野県感染症情報 (2019年(令和元年)第31週) (2019年7月29日 ~ 2019年8月4日)

2019年(令和元年)8月7日
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係
 (課長)徳本史郎 (担当)唐木英司 笠原ひとみ
 026-235-7148(直) 026-232-0111(代)内線2639
 026-235-7170(FAX)
 Email hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp

●全数把握感染症

レジオネラ症の原因であるレジオネラ属菌は、自然環境中(土壌、淡水等)に広く生育しています。人工的な水循環設備(循環式浴槽、冷却塔、給湯設備等)の中に侵入、繁殖し、そこから排出されたエアロゾルを吸入することで感染します。高齢者や他の疾患(糖尿病、慢性呼吸器疾患等)により免疫不全が低下している人は肺炎を起こすリスクが高く、特に留意する必要があります。

●定点把握感染症

手足口病は定点当たり21.04人で、1999年の感染症法による調査開始以降、最も高値となりました。患者のせきやくしゃみ、便の中に含まれるウイルスが手などを介して感染します。石けんと流水による手洗いをし、タオルの共有は避けましょう。

○次週第32週の発行は、8月14日(水)の予定です。

○厚生労働省「手足口病に関するQ&A」

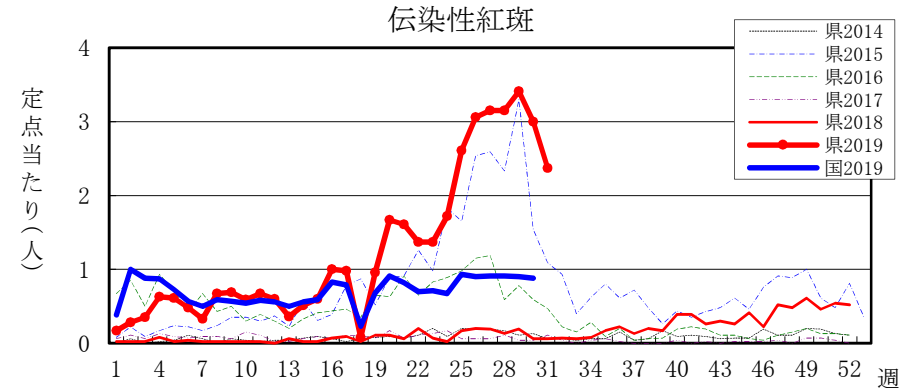
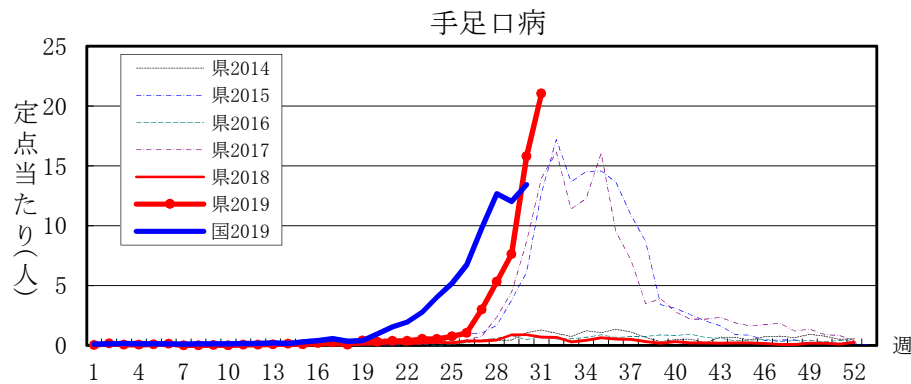
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

全数把握感染症届出状況

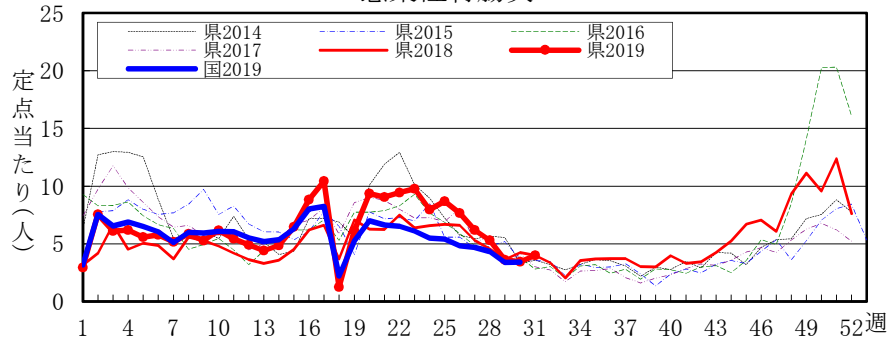
一類感染症	なし
二類感染症	結核 3例、潜在性結核 1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1例(O157)
四類感染症	レジオネラ症 8例
五類感染症	急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒2例、百日咳5例
動物感染症	なし

定点把握感染症届出状況

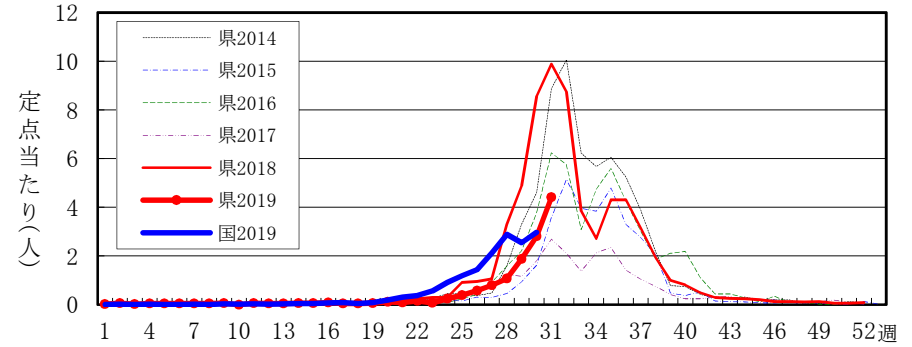
感染症名	今週	1週前	2週前
1 手足口病	21.04	15.80	7.63
2 ヘルパンギーナ	4.41	2.81	1.87
3 感染性胃腸炎	4.00	3.44	3.61
4 伝染性紅斑	2.37	3.00	3.41
5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.87	1.09	1.31



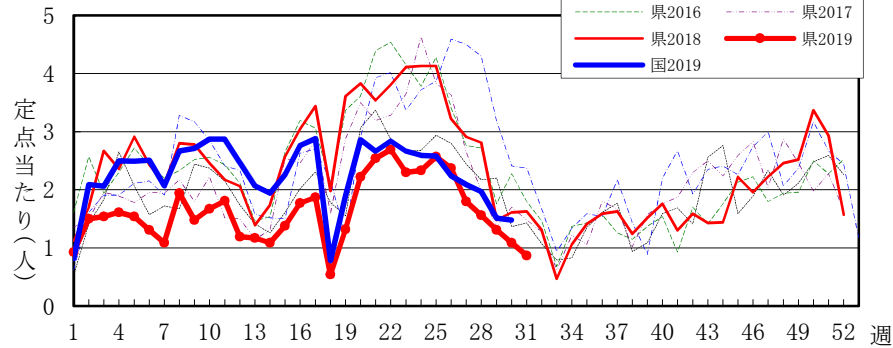
感染性胃腸炎



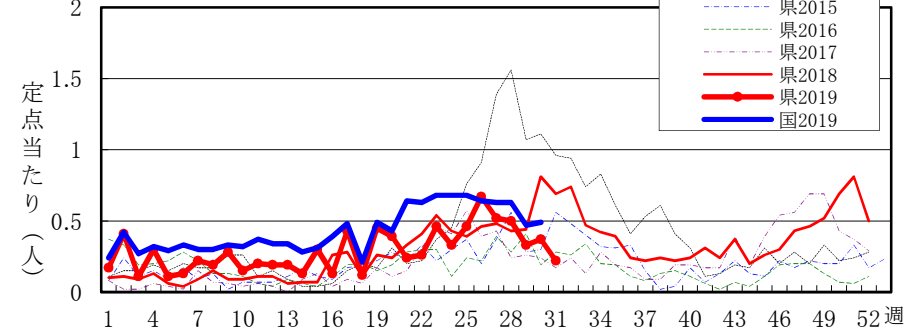
ヘルパンギーナ



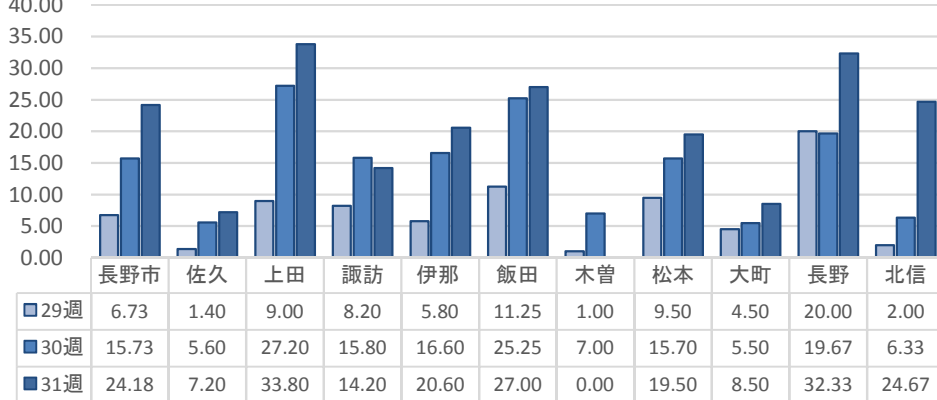
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱



手足口病 地区別患者届出数



伝染性紅斑 地区別患者届出数

